



文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
http://www.bunsei-art.ac.jp
発行 教務部・学報編集係

文星芸大附now!
は、平成17年4月
に「文星芸術大学
附属中学校」の開
校に合わせて発
刊されました。

東日本大震災を忘れない —いま私達にできること—

文星芸術大学附属中学校・高等学校長

上野憲示



平成二十三年三月十一日午後二時四十六分—これは生涯忘れることのない時刻となった。東北地方太平洋沖地震は最大震度7を観測し、この甚大な災害は東日本大震災と名付けられた。栃木県内、宇都宮市内でも被災地域は少なくない。本校においては校舎や校地にも、生徒や教職員にも特別大きな被害はなかったが、

建築物の一部損壊や交通機関の運行停止、計画停電などの、他人事ではない様々な影響を被っている。そのような中で、震災直後から「がんばろう東北」がらんぼう日本」という声を耳にし、その言葉を、私達も心の中で叫んでいた。私達が知ることができる被災の状況からは、直ちに救済に向けた行動をとるべきだと思いが、現地へ向けてのボランティア活動はままならない。節電、義捐金、…等々に関わりながら二か月が過ぎた。「いま、私達にできること」を考えてみよう。

ひとつには、「やらないこと」ができること」になる。震災直後には「買い占め」や「根拠のない情報の流布」が見られた。それらのことを「やらないこと」は重要なことだ。状況を正確に見極め、正しく行動することこそ求められる。附和雷同であってはいけない。自分の意見を持たなければならぬ。節電についても、常日頃から心掛けながら、特にエネルギー需要が多く逼迫する時期・時間帯を見極め、協力することが肝要だろう。この震災は、結果として原発の事故を惹き起こした。

日本人は科学教育に関して世界のトップを歩いていたはずだった。ところが、いざ原発事故が発生すると、またもや科学的根拠に乏しい情報に右往左往させられた。原爆に等しい爆発があり、外出はしていけない、雨にあたると危険だ、というような「情報」が宇都宮にももたらされた。自治体から放射線量の観測値が頻繁に公表されているにも拘らず、数値を正しく理解することができない。理性を離れ情緒に流されて議論を進めても虚しい結論が導かれるだけだろう。科学的な思考に必要なものは、確かなデータとそのデータを正しく分析し判断する理解力だろう。私達には、そのための能力を身に付けることが求められる。それが教養を身に付

けるといふことだ。今まさに本校の創立百周年の記念となるべき年だが、被災地のこと、被災した人々のことを正しく理解し、いま自分のある状況を再考し、「できること」、「しないこと」を見つけながら、日本を自分の手で元気にするんだという気持ちを持ち、新たな時代に向けて共に力を尽くそうではないか。

中学校行事予定

- ▽六月
 - 1日(水) 衣替え
 - 8日(水) 第101回創立記念日
 - 9日(木) 社会科見学
 - 9日(木) 社会科見学予備日
 - 11日(土) ボランティア実践
 - 17日(金) 宇河中教研教科外部会 (授業四校時まで)
 - 18日(土) 総合的な学習
 - 24日(金) 学習塾対家人説明会
 - 25日(土) 学習会
- ▽七月
 - 1日(金)~4日(月) 期末考査
 - 9日(土) 総合的な学習・保護者会
 - 13日(水) 中大連携授業
 - 20日(水) 第一学期終業式

高校行事予定

- ▽六月
 - 1日(水) 衣替え
 - 3日(金)~4日(土) 総合学力マーク模試(英・普三年)
 - 8日(水) 第101回創立記念日
 - 9日(木)~11日(土) 保護者会
 - 10日(金) 実用英語検定(一次)
 - 13日(月) 校内体育大会予備日
- ▽七月
 - 1日(金)~6日(水) 期末考査
 - 8日(金)~9日(土) 総合学力記述模試(英・普三年)
 - 8日(金) 総合学力テスト(普一年)
 - 9日(土) 総合学力テスト (英・二年)
 - 10日(日) 実用英語検定(二次)
 - 15日(金) 総合学力テスト(普二年)
 - 20日(水) 第一学期終業式

- 1 p <学校長より>
- 2 p <忍耐力があればこそ>
- 3 p <文星を見上げよう>
- 4 p <輝け!文星健児>
- 5 p <新生を迎えて>
- 6 p <新任教員紹介>
- 7 p <宿泊研修>
- 8 p <文星フォトギャラリー>

高等学校

「忍耐力があればこそ」



副校長 富田 誠

もうすぐ六月の声を聴こうとしているが、天然記念物「トキ」の放卵は期待外れに終わるのだろうか。また一年の時を待つことになるのかもしれない。

人生とは時にこのようなもので、結果が出るまでに膨大な時間を必要とする。多くのことがらは一朝一夕には成し得ない。砂漠の中で足下の砂粒を一粒ずつ数えながらオアシスに向かって歩いていくようなものだ。そのとき、必要なものは何か。それは「忍耐力」だ。結論を急いではいないだろうか。結論を導くために必要な知恵を十分に集めたのだろうか。この結論から確かに次に進めるのだろうか。忍耐強く考えられなければ、目標は遠ざかるばかりだ。忍耐力があればこそ、人生が豊かになる。

「絆」



統括総務 富永 一巳

好きな言葉の中に「絆」という文字がある。

三月十一日の東日本大震災で津波が発生し、多くの人が犠牲になった。又、原子力発電所からの放射線放出問題等で、避難を余儀なくされ、多くの人が家に戻れない状態が続いている。日本全国、いや世界の多くの国々から救援物資や義援金が寄せられている。人々が一つになり復旧、復興に向けて頑張っている。私たちは、この未曾有の大災害を前にして、家族・友人・隣人達と過ごせる幸せに改めて気づかされる。日本全体で支え合い、繋がり合う「絆」が求められている。一人ひとりが自らできることを考え、行動することが大切である。

絆

「考査の後は復習を」



教務副部長 館野 弘行

先頃、第一学期の中間考査が終了した。この冊子を手にする頃には、テストの答案が返却され、結果も既に出てくるであろう。

今回は、考査の後に必ず行ってほしいことについて触れたいと思う。それは、間違えたり答えられなかったりした問題を、もう一度復習し、今後同様の問題が出題された場合には、自信を持って正答が記入できる状態にしておくということだ。一見当たり前のことであるが、実態はそれほど易しいものではない。なぜなら、生徒達の興味関心は点数ばかりにあり、友人達と点数の比較をしては、一喜一憂する姿ばかりが目につく現状であるからだ。大学入試センター試験や就職試験が、高校二年生までの学習を中心に問題されていることを踏まえ、テストの復習を軽んずることなく、ぜひとも真剣に取り組んでほしい。

ライオン主義の原典

獅子 摘象 至之 力捨 危全 其力 為之

右の書は、天野先生が本校のライオン主義を揮毫したものです。天野為之博士(経済学)は、本校の創立者上野安紹先生が生涯の師と仰いだ早稲田時代の恩師です。天野先生は、早稲田大学の第二代学長を務め、後に早稲田実業学校を創設されました。本校の「三敬精神」も、天野先生の「三敬主義」を引き継いだものです。

平成二十三年度 学年担当職員

《第一学年》

総務 岩泉 徳栄
主任 荒川 喜昭
副主任 長谷川 聡
生徒指導 渡辺 誠
学年担当 瀧島 一利
学級担任 一組 森本 浩雅
二組 菊地 幸子
三組 関塚 貴光
副担任 田中 恵
四組 中田 裕市
五組 佐藤 教治
六組 佐藤 輝明
七組 田口 純平
八組 西牟田浩章
九・十組 高木 肇

《第三学年》

二組 佐藤 史徳
三組 中根 雅之
副担任 木村 憲子
四組 河上 倫典
五組 金子 真一
六組 富田 健作
七組 加藤 総明
八組 野口 秀敏
九・十組 尾田 大輔
十一組 船木 勝
十二組 伊沢 修一

《第二学年》

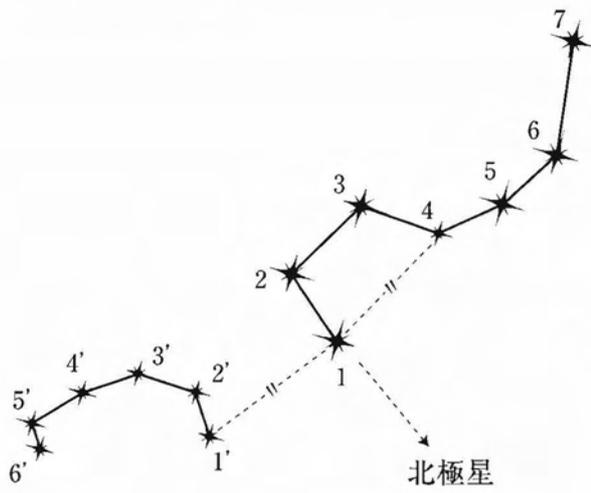
総務 山口 和正
主任 大越 研介
副主任 小菅 光春
生徒指導 直井 秀幸
学年担当 新井 隆義
野村 勇司
学級担任 一組 雪野 賢
副担任 安達可代子

総務 阿部 克美
主任 千代野 仁
副主任 白石 一徳
生徒指導 根本 哲也
学年担当 星野 英雄
石井 隆詞
学級担任 一組 高橋 伸夫
二組 福田 和弘
三組 染野 幸弘
四組 荒井 祐也
五組 坂巻 敦志
副担任 岡嶋 陽子
六組 小林 秀晃
七組 住森 克己
八組 島田 和明
九組 守谷 淳子
十組・十一組 田島 基行
十二組 南木 和喜

文星を見上げよう

今から約二千年前に司馬遷(しばせん)によって編纂された中国の歴史書「史記」の「天官書」(てんかんしょ)天文に関する書の中に、星図が示されています。

その星図には、「北斗」(ほと)の上に「文昌」(ぶんしょう)という星座が描かれています。「文昌」は六星からなるので「文昌六星」と呼ばれ、「北斗」は七星からなるので「北斗七星」と呼ばれます。



文昌星は、通称「文星」と呼ばれ、中国では古くから「学問の神」としてあがめられてきました。

このような中国古代の故事にちなみ、皆さんの学問成就を願って、学校名「文星」がつけられました。

「北斗七星」は明るく目立つ星座なので、北の空を見上げれば直ぐ見つけられます。「文星」は北斗七星ほど目立たないので見つけにくいと思いますが、慣れれば肉眼でしっかりと確認できます。次に、「文星」を見つけてポイントを示しますので、ぜひ文星を見上げてください。

六月は、二日(木)が新月、九日(木)が上弦(半月)、十六日(木)が満月、二十三日(木)が下弦(半月)です。上弦から下弦(九日)二十三日は、月明かりで星が見えにくくなるので、それ以外の期間のほうが「文星」は見つけやすいでしょう。

六月上旬の北斗七星は、上図のように真北よりやや西向きに傾きます。

まず、北の空を見上げて北斗七星を確認します。北斗七星の見える幅は、視直径三十度(両手を伸ばして三十七センチ:ほぼ肩幅)です。北斗の4星が一番暗い星です。4星が見えないときは、見えるまで目を暗さに慣らします。

北斗の1~4星を結んだ線をそのまま同じ幅だけ延長したところに、北斗4星と同じ明るさの文星の1'星(4と同じ明るさ)があります。この1'星を起点に、文昌六星をたどることができま

す。北斗1~2星を結ぶ線を下に三十センチ延ばしたところに北極星があります。

(文責 牧島勝利)

生徒会だより

こんにちは。生徒会長の岡本です。まずは、東日本大震災への義援金のご協力に感謝したいと思います。被災者の皆さんへの一人ひとりの思いが集まり、多くの義援金を送ることができました。

また、今回の募金活動は高校だけではなく、中学校の生徒会も積極的に参加してくれました。高校生、中学生、そして先生方、募金にご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

新年度は、このような活動から始まった生徒会ですが、新たな役員が加わることとなりました。これから、新役員とともに、より一層学校行事を盛り上げていきたいと思っています。本校は今年めでたく百周年を迎えました。この歴史ある本校の百周年の年に生徒会長を務めていることを幸運に思います。と同時に、しっかりと役割を果たせるだろうかという不安もあります。

しかし、やるからにはライオン主義で全力を尽くしていきたいと思えますので、どうぞ一年間よろしくお願ひします。皆さんで百周年の記念の年を大いに盛り上げましょう。

検定試験取得状況 (五月末現在)

第164回全経簿記検定

- 【三級】 市村 拓也 海老原佑基 大内 悠也 木村 達也 倉井 一樹 島田 天佑 諏訪 雅幸 浜本 周 三浦 一也 吉池 研雄 渡邊 伸将 渡邊 勇磨

第101回全経電卓検定

- 【四段】 暮林 翔真 【三段】 田中 智也 【二級】 大内 悠也 阿久津友汰 樋口 武志 別井 健人 小倉 混平 高屋敷雄太 宗像 謙 屋代 幹人

【二級】

- 池田 祐弥 市村 大貴 市村 拓也 海老原佑基 大内 悠也 小島 祐希 清水 雄斗 高野 耕司 内田 大貴 倉井 一樹 島田 天佑 吉池 研雄 海老原大輝 富田 貴士 福島 一也 大久保雄気 亀井 貴大 佐藤 陽平 園部 大樹 高橋 寛樹 宮嶋 拓哉

【三級】

- 青木 直希 石川 季輝 鈴木 俊介 浜本 周

第5回全商スピード認定試験

- 【二級】 千葉 智行 森田 哲也 吉池 研雄 【三級】 海老原佑基 高野 耕司 内田 大貴 倉井 一樹 三浦 一也 海老原大輝 熊谷 祐輝

平成22年度第3回 日本漢字能力検定

- 【三級】 遠山 直行 前田 峻 渡邊 歩

平成22年度第3回 実用英語技能検定

- 【二級】 岡崎 響 小倉一富史 鈴木 康平 野澤 尚純

【準二級】

- 岩本 壮史 小室 優作 坂本 匠 清水 慧悟 長谷川 潤 古谷 雅幸 牧野 佑輝 横山 雅季

【三級】

- 向坊 長斉

輝け! 文星健児

部活動報告

四・五月に県内各会場で行われた、栃木県高等学校総合体育大会(以下「県総体」)の主な結果をご報告します。今年、6団体が関東大会に駒を進めています。

※(普)＝普通科

卓球部

団体個人ダブルスで 見事、三冠!

五月一日から三日に行われた県総体で、本校卓球部は、各部門で優勝という快挙を成し、堂々の関東大会出場を果たした。

団体決勝では好敵手・作新学院を撃破して県を制覇。団体でも活躍した澤島雅孝選手(普三年)が個人で、危なげなく優勝。ダブルスでは澤島・小堀有介(普一年)組が作新学院を破って優勝を決めた。

関東大会は六月四日から埼玉県で行われる。

陸上競技部

男子円盤投げで

表彰台を独占!

五月十四日から十七日に行われた県総体で本校陸上競技部の石川稜選手(普三年)、安達卓也選手(普一年)、

田代美砂希選手(普二年)が、投擲三種目で見事な活躍をし、六月十七日から千葉県で行われる関東大会に出場を決めた。

《円盤投げ》

優勝 安達 卓也 34メートル22

2位 石川 稜 33メートル08

3位 田代美砂希 32メートル25

《砲丸投げ》

2位 安達 卓也 12メートル21

4位 田代美砂希 11メートル93

《ハンマー投げ》

3位 石川 稜 40メートル50

硬式野球部

関東大会出場

五月十四日、春季関東地区高校野球大会初戦にて本校硬式野球部は八王子高校(東京)と対戦した。

五月五日の県予選決勝では、大田原高校に四対二で惜敗し、準優勝での関東出場となった文星ナイン。強豪相手に白星を飾りたいところだったが、初回の四失点が響き、苦いコールド負けとなった。

バスケットボール部

県大会準優勝!

五月七日から行われた県総体で、本校バスケットボール部は決勝リーグに進出し、二勝一敗の成績で準優勝となり、関東大会への切符を手にした。大会は六月四日から山梨県で行われる。

剣道部

団体で3位、関東へ

五月十四日に行われた県総体団体戦準決勝で、本校剣道部は今回復勝の佐野日大と対戦。善戦及ばず敗れ、第3位で関東大会出場権を獲得した。大会は六月三日から東京都で行われる。

柔道部

団体で3位、関東へ

五月八日に行われた県総体団体戦準決勝で、本校柔道部は国学院栃木に敗退し、3位決定戦で茂木高校と対戦。見事に下し、第3位で六月四日から群馬県で行われる関東大会出場を決めた。

テニス部

団体3位入賞

五月一日から行われた県総体で、本校テニス部は準決勝で今回優勝の足工大附に敗れたが、順位決定戦で3位となった。惜しくも関東大会出場は逃したが、チームの今後に期待がかかる。

将棋部

県大会で団体準優勝

全国高校将棋選手権栃木県予選が四月二十九日に行われ、本校将棋部が団体戦に出場した。決勝で真岡高校Aに一勝二敗となり、準優勝となった。

東日本大震災の募金活動

三月十一日に起きた東日本大震災。テレビで見た被災地の映像は壮絶なものでした。私たちに何かできることはないかという思いから、中学校、高校生徒会、インターアクト部により、四月十二日から一週間、朝の時間に校内で募金活動を行いました。

多くの生徒が募金箱の前で足を止め、自分のできる範囲で協力をしてくれました。

た。集められた義援金は6万4830円にもなりました。ご協力ありがとうございました。

ホームルーム対抗ドッジボール大会

晴天に恵まれた四月二十八日、学年別ホームルーム対抗ドッジボール大会が実施されました。

東日本大震災の影響のため、中止になったバス旅行の代わりにドッジボール大会でしたが、各クラスとも最後まで勝利に対する執念

が見られ、新しいクラスの団結も深まったことと思います。

《優勝》

一学年 十二組
二学年 八組
三学年 五組

《準優勝》

一学年 四組
二学年 六組
三学年 十二組

《第三位》

一学年 三組
二学年 五組
三学年 九組

文星散歩道

(題字 大木副教頭)

⑭ エール

保健体育科 根本哲也

三月十一日に発生した東日本大震災の影響で、開催が危ぶまれた第83回選抜高校野球大会の開会式が三月二十三日に甲子園球場で行われた。

開催について様々な意見が飛び交うなか、震災直後から野球の練習よりもボランティア活動を優先して共感と呼んだ宮城県東北高校が出場するなど、注目の大会となった。

その中で選手宣誓の大役を担ったのが岡山県代表創志学園高校の野山慎介主将だった。創志学園は創部一年目ながら一年

生メンバーのみで甲子園出場の快挙を成し遂げたチームである。

「私たちは十六年前、阪神淡路大震災の年に生まれました。いま東日本大震災で多くの尊い命が奪われ、私たちの心は悲しみでいっぱい。被災地ではすべての方々が一丸となり仲間と共に頑張っておられます。」と被災地では人々が団結し、苦境に立ち向かっている内容を述べた。そして

「人は仲間を支えられることで大きな困難を乗り越えられると信じております。私たちに今できること、

それはこの大会を精一杯、元氣を出して戦うことです。『がんばろう、日本!』生かされている命に感謝し、全身全霊、正々堂々とプレーすることを誓います。」と力強く語った。

この選手宣誓は、ゼロからのスタートで「甲子園」という夢を掴んだ若者から、震災により築き上げてきたものを全て失い、ゼロから出発する被災地の方々に送られた精一杯のエールであり、被災された人のみならず、日本全国に大きな勇気と感動を与えたはずだ。

中 学 校

新年度を迎えて



校長 敬子 上野 副校長

本校に入学した新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

さらに本年度は本学園が百周年を迎える記念すべき節目の年にあたります。そのような記念すべき年に、中学では、新たに男女共学となり、男子二十四名、女子十九名の新入生を迎え、平成二十三年度がスタートしました。さて、新入生の皆様は、新しい学校生活に慣れてきていますか。新入生を見ていますと、草原に芽生えた若葉のようであり、夜空に煌めくきらきら星のようで、無限の可能性を感じています。今後の六年間様々な経験をし、夢に向かって、やる気と希望に満ちた学校生活を送り、大きな花を咲かせて下さい。

また、本校の校訓である
一 自己を敬へ
一 他人を敬へ
一 仕事を敬へ
この「三敬精神」と何事にも全力投球の『ライオン主義』を体得実践し、人間的にも大きく成長してほしいと願っております。

中学校全学年が一つとなり、新しい歴史の「ページ」を刻んでいきましょう。

新入生への期待と不安



校長 一郎 中山 副校長

今年も多くの入学生を迎えて新年度が始まった。特に中学校では女子の新入生を迎え、ここに文星芸大附属中学校初めての男女共学が発足した。

新入生諸君は中高を問わず、未来への期待と学校生活への不安を胸に抱いて入学してきたと思うのだがどうだろうか。

我々教師にしても、この生徒たちをどこまで伸ばしていけるだろうか、女子中學生を扱ったことがない、

どう指導したらよいか、などという不安がなくてはならない。しかしどの先生方も期待の方が大きいと思っている。教育心理学では「ピグマリオン効果」というのがある。「この子は必ず伸びるはずだ」という期待の下に指導していくと学力増進の効果があるというのである。期待する教師と期待される生徒、これが文星附属の教育を支えるのではなからうか。

幸せってなんだっけ



校長 登 岡 教員

たのしみは妻子むつまじくうちつどひ

頭ならべて物をくふ時

(橋暉覧)

こんな歌を見つけました。あなたはこの歌にどんな思いを持ちますか?

日常のごく当たり前の風景かもしれないですが、たのしみと詠んでいます。あなたはおおげさではなく繰り返される日々の生活の中にどんなたのしみを、幸せを

かんじていますか。

毎日学校に通ってくる。朝昼晩食事をする。本を読む。校庭を走る。大声で叫ぶ。音楽を聴く。テレビを見る。これらはあなたにとって当たり前前の出来事かもしれない。ことさら幸せを感じたものではないかもしれない。でも、これらの事が普通に行えない人たちが世の中にはたくさん居ることに少しは、目を向け、耳を傾けてみてはどうでしょうか。普段の何気ない営みの中にたのしみ・幸せを見つけ出せる感性を私は信じていきたいと思う今日この頃です。

一年生の諸君へ



主任 雅夫 澤 稲 1年1組

すっかり学校生活にも慣れ、充実した楽しい日々を送ってくれていると思います。部活動も本格的に始まり、初めての中間テストも経験しました。そういった中で、特に最近仲間との切さをしみじみと感じているのではないのでしょうか。

協力することにより建設的なことが生まれてきます。また、友達を思いやることでより友情・信頼が深まってきます。このような姿は実にほほえましいことです。ね。

何かをするに当たって、人には必ず「向き不向き」があります。しかしどんな時にも「前向き」の姿勢はくずしてほしくはありません。前途洋々の一年生に大いに期待しています。

新入生を迎えて



主任 恵子 横山 1年2組

文星芸術大学附属中学校は、十九名の女子生徒を含む四十三名の新入生とともに新たな船出をしました。このような重要な年度に、一年二組の担任をさせていただくことに、身の引き締まる思いがします。入学式で、まだ幼さが残る新一年生の初々しい姿に出会い、これからの一年間がとても楽しみになりました。



一年生にとっては、学校生活のすべてが新鮮で驚きに満ちているようです。また、先輩の二、三年生からも良い刺激を受け、日に日に中学生らしく成長していく姿は頼もしい限りです。授業に対して意欲的であることはもちろんのこと、知識欲が旺盛で幅広い興味関心を示す生徒が多いのにも感心させられます。大いなる可能性を秘めた四十三名の生徒達と、私も共に成長していきたいと思っています。



井上 千津
英語科

生まれも育ちも大阪で、大阪弁のまぎった授業をしています。中学生があたたかく受け入れてくれるのが嬉しいのです。大阪で六年間、横浜で五年間、宇都宮では雀宮中学校で九年間勤めました。が、ずっと公立中学校勤務だったので、まだまだ新しい環境に慣れていません。しかし、「ぼちぼちいこか」精神で頑張っています。



仁村 寿子
保健体育科

今年度から、保健体育を担当することになりました。勤務して二ヶ月が過ぎようとしています。生徒の皆さんが明るく素直で何事にも一生懸命に取り組んでいく姿がとても印象的です。先日の新入生歓迎体育大会でも、全学年が力を合わせて全力で取り組んでいる姿に感動しました。

中学校の三年間は、心も



伴野 真彦
数学科

本校の生徒の皆さんは、挨拶を丁寧にしてくれるのが印象的です。「素直な心・感じる心・思いやる心」を大切に、学校生活を充実してもらいたいと願っています。

本校に勤務し、二ヶ月が過ぎようとしています。この二ヶ月、授業や学校行事など、たくさんの時間を共に過ごさず、毎日がとても充実していると実感しています。それも生徒一人一人が明るく、それぞれが目標を持って日々を過ごしているからこそ、自分自身が充実しているのだと思います。

新任教員紹介

体も一番成長する時期だと思えます。そんな貴重で大切な時期に、皆さんと一緒に過ごせることは、とても嬉しいことです。私もみなさんと共に成長していきたいと思っています。

また、授業はもちろん、スポーツを通じて、皆さんの学校生活がより充実したのになるようサポートしていきたいと思っています。少しでもお役に立てるように、精一杯頑張りたいと思いますので、よろしくお願います。



中沢 公美
家庭科・数学科

みなさん、楽しく充実した学校生活を送っていますか？本年度が始まり、二ヶ月が過ぎようとしています。

文星中のみなさんは、勉強するときは勉強する、はじけるときははじけるといったように、非常にめりめりがあり、その姿に感動しています。私も負けてはいらないと感じる毎日です。

去る三月十一日、東日本大震災により多くの悲しみが生まれ、日々の生活が一変しました。そんな中、この場にいられることがどれ程幸せなことなのかと思えます。皆さんには、自分が今、勉強できることの幸せ、友達と会えることの幸せ、そして何よりも学校に行けることの幸せを感じ、感謝の気持ちを持ち続けてほしいと思います。私自身も皆さんに出会えたこと、本校で勤務できることに感謝し、学校生活が充実したものであるよう、全力で応援していきたいと思っています。

授業においては、家庭科と数学を担当しています。私の目指す授業は、実際に自分で試したり、実物を見たりする中で、新しい発見ができる授業です。みなさんと共に、笑い、考え、感動し、成長していきたいと考えています。

まだまだ未熟な部分があるかと思いますが、みなさんが文星中の生徒で良かったと思えるよう、精一杯サポートしていきます。よろしくお願います。

去る三月十一日、東日本大震災により多くの悲しみが生まれ、日々の生活が一変しました。そんな中、この場にいられることがどれ程幸せなことなのかと思えます。皆さんには、自分が今、勉強できることの幸せ、友達と会えることの幸せ、そして何よりも学校に行けることの幸せを感じ、感謝の気持ちを持ち続けてほしいと思います。私自身も皆さんに出会えたこと、本校で勤務できることに感謝し、学校生活が充実したものであるよう、全力で応援していきたいと思っています。

新入生誓いの言葉

四月六日に挙行された入学式では、新入生が誓いの言葉を述べました。その宣誓文を紹介します。

一年一組 石毛 達大

本日、私たち新入生四十三名は学園創立百周年という節目の年に本校に入学しました。共学という新しい伝統を作り上げようとしている文星芸術大学附属中学校の生徒となれることを、心からうれしく思っています。

私たちは、この感激と、今までお世話になった多くの方々や家族への感謝の気持ちを忘れることなく、今日からは、校長先生はじめ先生方のご指導のもと、学力と体力の向上、そして心の成長を果たすとともに、それぞれの夢を叶えるため努力を精進し、これからの六年間を輝かせていくことを、ここに誓います。



新入生代表 石毛君

部活動大会結果

五月六日(金)～八日(日)に春季宇河地区大会が行われました。各競技の結果は次のとおりです。

《男子バスケットボール部》
対 陽北中 一回戦

《男子ソフトテニス部》
団体戦
対 本郷中 一回戦

個人戦
佐藤・徳本組 二回戦進出
他3ペア 一回戦

《卓球部》
シングルス 二回戦
ダブルス 二回戦

個人戦 二回戦

《剣道部》
個人戦 二回戦

各部活動とも三年生にとって最後の大会となる、七月の総合体育大会に向けて頑張っています。今後とも応援よろしくお願います。

新部活動発足

本年度新たに次の部活動が発足し、活動し始めました。

《運動部》

女子ソフトテニス部

女子バスケットボール部

《文化部》

演劇部

宿泊研修

今年度も、鹿沼自然体験交流センターで二泊三日の宿泊研修を行いました。生徒の感想を紹介します。

生徒の感想

皆と絆を深めた宿泊研修

一年一組 小山 菜摘

私が今回の宿泊研修で学んだ事は、二つあります。

一つ目は、友達との絆を深めた事です。特に、私の班は二間続きの和室だったので、一組全員の女子と話をしたりふざけあったりできました。皆で分からない事を協力し合って解いていたりしていたので、いつの間にか、友達と深く絆を結んでいました。お風呂では皆ではしゃいでとても楽しい宿泊になりました。

二つ目は、先輩達など、皆とチームワークを深められたことです。けんちんうどんづくりで、私たちはけんちんうどんの汁をつくることになり、先輩達は、うどんをつくることになりました。先輩達は、自分たちのやることと先輩達と協力してやる材料を切るを手伝ってくれました。分からないこと

を教えてくださいたりしてもらっているうちに団結力が深まった感じがしました。

また、仲間づくりゲームでは分からないことを皆で意見を出し合って解いていきました。中一だけでは無理そうなのも、先輩達と解いていくにつれ、いつの間にか先輩達の面白い所を見たりでき、チームワークというものが見えてきました。私の班はチームワークがよく、意見を多く出し合ったりしていたので、仲間づくりゲームをやっているうちに、最新記録をどんどん出していきました。

今回の宿泊研修で、友達との絆の大切さとチームワークの大切さを学びました。先輩とも話などができて良かったです。

今後、この宿泊研修で学んだ事を学校生活で生かしていきたいと思います。来年は、中二になるので、この宿泊研修のときには、先輩らしくアドバイスをしたうな事を同じように学んでほしいと思います。また来年もこの宿泊研修に行きたいと思えます。思い出がともいっばいできました。

宿泊研修で学んだこと

一年二組 渡辺 友加里

四月十八日から二十日までの二泊三日の宿泊研修では、先輩方みんながすべての活動に全力で取り組んでいて、私たち一年生のことをはげましてくれました。ハイキングのときに、私たちが、「つかれた。」と言ったとき、先輩は、「もう少し。がんばれ。」と言ってくれました。S先輩は野外でのけんちんうどんをこねるのを一人で行って、力仕事をたくさんやってくれました。そして二年生のT先輩は、どんなに暑くても火をおこすのをすごくがんばってくれました。もし、先輩方がいなかったらけんちんうどんは作れなかったと思います。先輩方がいて本当に良かったですし、とても感謝しています。

私は、この宿泊研修で学んだ事が二つあります。それは、協力することの大切さと、みんなとコミュニケーションを取り、伝えたいことをはっきり言うことの大切さです。今回の宿泊研修ではこの二つのことをし

っかり実行することができました。みんなと協力しないうちで、自然に協力して活動できました。特に、仲間作りゲームは、みんなが協力し、コミュニケーションをきちんとなし、自分ができるゲームばかりでした。最初のうちは、自分が伝えたいことがうまく言えなかったけれど、だんだんゲームをやっていくうちに自然とみんなと話せるようになり、自分が伝えたいことをみんなにしっかりと伝えることができました。

宿泊研修に行って

二年一組 原田 拓

二年生になって僕は、宿泊研修に行きました。初日は、がっさ山に登りました。去年は雨で道が汚れていてなかなか進めませんでした。今年も晴れて去年の半分ぐらいにしか感じませんでした。夜は学校紹介や部活動、委員会紹介などを行いました。自分が入っている将棋部に入る予定の人が、三人いてうれしかったです。

二日目の午前中のけんちんうどん作りでは、僕はうどんを担当しました。こねるのがとても大変でそのあと足が痛くなりました。でも食べたなら痛みを忘れるほどおいしかったです。午後は雨だったので室内で仲間作りゲームをしました。どのゲームも協力しないと成功しないものでした。夜はキャンドルファイヤーをやりました。僕は虫コナーズの歌と踊りをやりました。爆笑してくれたのでよかったです。

僕はこの宿泊研修を通して協力することの大切さを学びました。この経験を学校生活に生かしていきたいと思えます。

宿泊研修

三年一組 根本 諭

宿泊研修一日目、がっさ山に登りました。山登りは久しぶりだったので山頂までが辛かったです。

二日目は、けんちんうどん作りにも挑みましたが、一年生が水加減を失敗してしまいました。これは助けなないといけないと思い、手助けしました。僕たちは食べるのが最後になってしまいました。みんなの愛情が入ったうどんになりました。午後は室内でゲームをやりました。中でもみんなの心をついにしなないでできないフラフープが印象に残りました。

その夜のキャンドルファイヤーでの誓いの言葉は、班のみんなが「はじめ」について誓いました。言ったからには今後実行していきたいです。二部に入って三年生の歌の披露では心臓バクバクでした。中学校最後の宿泊研修と思うと悲しいですが、学んだことは次に生かし、楽しかったことは自分の思い出として残したいと思えます。

第9期 生徒会役員

会 長	3年4組	岡 本	源二郎
副会長	3年9組	青 木	貴 寛
	2年5組	入 江	優 知
総 務	3年5組	小 峰	拓 馬
	3年9組	小 田	出 龍
	2年1組	小 森	出 信
	2年4組	小 加	藤 之
	1年7組	清 水	侑 建
庶 務	3年5組	日 下	克 野
	2年1組	佐 藤	佳 都
	2年7組	小 川	貴 広
	2年10組	小 内	悠 也
	1年7組	大 田	鶴 雅
会 計	2年11組	大 塚	村 涼
	2年11組	大 木	村 達
会計監査	3年4組	山 根	聡 太郎
	2年3組	鶴 野	翔 斗



東日本大震災義援金募金活動

¥64,830円集まりました。
ご協力ありがとうございました。

文星フォトギャラリー

高校/校内ドッジボール大会



中学校/宿泊研修

